

## 令和6年度第5回菊池市国民健康保険事業の運営に関する協議会会議録

日時：2025年3月12日 午後7時～午後8時00分

場所：本庁2階204会議室

出席者：資料名簿のとおり

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議題

### 議題1 「令和7年度菊池市国民健康保険事業計画（案）について」

#### 【事務局説明】

#### 委員

医療費の適正化について、ちょうど医療費通知が郵送されてきたが、11・12月の分が3月に届いた。もう少し早く届かないか？

申告が始まるまでに通知が欲しい。

#### 事務局

医療費通知は国保連合会で作成しているが、医療機関から国保連合会へ請求後、審査等あり、最短の処理で診療月から2か月後の作成となる。

昨年度までは、12月診療分を3月末に作成し、4月上旬に発送していたが、今年度は2月末に作成してもらおうことで、少しでも申告期間中に間に合うよう、3月上旬に発送したもの。この処理が最短となるため、ご了承いただきたい。

#### 委員

保健事業の推進「特定健康診査」とは？

#### 事務局

皆様に受けていただいている「特定健診」のこと。

#### 委員

人間ドックを受けた人も、受診率の集計に含まれるのか？

#### 事務局

人間ドックでも特定健診の項目を実施しており、集計に含まれる。

#### 委員

国民健康保険税の収納について「コンビニ納付・キャッシュレス決済」とあるが、現在も行われているか？

#### 事務局

現在、納税通知書裏面に記載のスマートフォンアプリによる納付、コンビニエンスストアでの納付について実施している。

## 委員

医療費適正化について、自分もジェネリック医薬品を利用しているが、薬局で「前回のお薬と変わりました」と説明されるのはなぜか？

## 委員

ジェネリック医薬品については、成分・効能を同じくした薬を別の会社が生産することで費用が安くなり、安価に提供できるもの。しかし、流通の問題などから販売中止になることがよくあり、同じものが入荷されず、成分が同じで異なるメーカーのジェネリック医薬品を処方されるケースがあるためと思われる。

## 委員

自分もジェネリック希望のシールを活用している。友人の話だが、ジェネリック医薬品を希望したところ薬局に取り扱がないと言われたことがあると聞いた。

## 委員

先ほどの話になるが、ジェネリック医薬品はメーカーと別の会社が、費用を抑えて生産することで安価に提供されるものだが、医薬品を生産する会社も採算が合わなければ生産中止となってしまう、ジェネリック医薬品が不足、入荷されないことがある。

ご友人がどういった状況で説明を受けられたかはわからないが、薬の種類によってはジェネリック医薬品の取り扱い自体ないものもあるので、そういった説明だった可能性も考えられる。

## 委員

オーストライズド・ジェネリックもあると聞いているが。

## 委員

先発医薬品メーカーの許諾を受け、成分・効能だけでなく、製法等も先発品と同じくして生産することで、先発品により近いものが作られるもの。

ジェネリック医薬品には違いないので、ジェネリックはちょっと…と思われる方にも、より安心して使っていただくことができると思われる。

## 事務局

ありがとうございました。

## 委員

薬剤師会との連携強化について、対象者が国保の方になるため、該当の年齢層が高くなっている。今年の実績は1名。

## 議長

他に御意見は、ないか。

よろしいようなので、議題2に進む。

## 議題2「令和7年度菊池市国民健康保険特別会計予算（案）について」

### 【事務局説明】

#### 委員

歳出の高額療養費は、がん治療や人工透析等になるのか？

#### 事務局

入院や手術等も含み多岐にわたっている。

#### 議長

他にないか。

以上で議題等終わったため、進行をお返しする。